

八鹿病院

yoka municipal hospital

NEWS



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

特集 看護部スペシャル①

看護部

- ▶ 関連施設リレーだより 公立村岡病院
- ▶ 現場の Expert 超音波検査士
- ▶ 看護部だより 臨床指導者として感じたこと
- ▶ 教えて！健康コラム 膝の痛み～最新のアプローチ～
- ▶ トピックス 第10回やぶ医者大賞表彰式・記念フォーラム開催 など
- ▶ インフォメーション 心室遅延電位の検査が可能になりました など

2023

12

月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。





特集

看護部スペシャル①

看護部

急性期から慢性期、在宅・施設へと繋がる医療を提供する八鹿病院だからこそ、看護部として必要なケアは何なのか。

今回は、当院看護部が実践している大切なことについてお知らせします。

「シームレスな看護」を
実践しています



看護部長
足立記代子

「シームレスな看護」とは、切れ目のない、途切れなく継続する看護という意味です。病気になる急性期治療から脱した後は、生命・生活・暮らしを誰がどのように繋いでいくのが大切です。

当院の強みは、「急性期から慢性期、回復期、終末期への移行」、「訪問看護など治療期やフォローアップ期において生命と生活を繋ぐ」、「病院と地域を繋ぐ」、「医療チーム・介護チームとケアを受ける人を繋ぐ」などがあります。地域の方々へサービスを切れ目なく提供し、生活の維持ができるよう、継続性のある看護を実践しています。

看護部では、「意思決定支援」「ケアの充実」「多職種協働」「退院支援」の4つの強みを掲げています。患者さんが安全で安心できる入院生活から在宅へ繋ぐことができるようにいたします。患者さんの一番そばにいる存在として「健康」「医療」「生活」という視点をもち、専門的な役割をもって関わっています。



看護部の仲間紹介

看護部は看護師だけではありません。看護部の中でもさまざまな職種のスタッフが、各部署で力を発揮し、患者さん、利用者様、ご家族のよりよい生活のために日々活動しています。

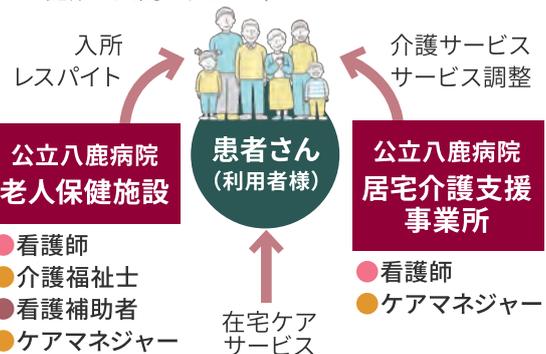
診療の補助、療養上のお世話を通じて病気やケガの治療、介護が必要など身体や健康上にさまざまな問題を抱えながら生活する人々を支える。

- 看護師
- 助産師
- 保健師
- 看護補助者
- 介護福祉士

八鹿病院

外来診療・検査
手術・内視鏡・透析
健診・人間ドック

入院・レスパイト入院
産後ケア



- 看護師
- 介護福祉士
- 看護補助者
- ケアマネジャー
- 看護師
- ケアマネジャー

● 看護師

看護師

女性の健康保持や増進、育児をサポートする。当院では妊娠期や出産後の健康指導や乳房ケア、新生児ケアなどをおこなう。

健康相談や健診結果を元に生活改善のためのアドバイスやサポートをおこなう。

5つの職種が 協力的に 支えています

助産師

保健師

看護補助者

看護師の補助として患者さんのお世話(着替え、検査付き添い、食事・排せつ・入浴・車椅子移動などの補助)や療養環境の整備をおこなう。

介護職員

要介護者や要支援者に対し、日常生活を送る上で必要な援助を提供。直接身体に触れお世話をする「身体介助」が中心。食事や入浴、排せつ、着替えなどを手伝う。

患者さんの人生を支えるために 私たちが大切にしている 4 つのこと

私たちは患者さんのすぐそばにしながら、専門知識の目、専門技術の手を使い、患者さんの人生を支えるお手伝いをしています。

治療の方向性やタイミング、最期の迎え方など、治療を進めていく中で患者さんやご家族は意思決定が必要なときがあります。私たちは、患者さんの意向に沿ったその人らしい選択ができるよう支援しています。

- 十分話し合い、患者さんの希望やご家族の思いをお聴きします。思いの変化などにも柔軟に対応します。
- 患者さんの思いに寄り添い、最善のケアを提供します。



意思決定を
支える

患者さんのそばに行き、しっかり目と顔を見て話しを聴く。患者さんの価値観を大切に、安心して元の生活に戻れるよう援助します。



ケアの
充実

- 身体の清拭・洗髪
- 食事・排せつ介助
- 指導（食事介助方法、吸引方法、体位変換、インスリンなど）
- 医療処置（床ずれ、やけど、傷の処置など）
- 医療機器の確認 など

当院にはさまざまな専門スタッフが在籍しています。各々の得意分野を活かし患者さんの治療をおこなう「チーム医療」では、看護・介護スタッフも積極的に情報共有するなど治療やケアの方向性をチームで検討しています。

多職種
協働
(チーム医療)

退院支援

可能な限り入院前の生活に近づけ、安心して退院後の生活を送っていただきたいという思いから、退院支援は時間をかけておこないます。「生活リハビリで安心な自宅生活を送る」「老人保健施設でリハビリを継続・強化する」「訪問看護でケアを継続し維持する」など患者さんやご家族と目標を決め適切な介助や支援をおこないます。



チーム医療の「要」として、さまざまな分野で活躍中！



回診後に患者さんについて話し合う
排尿ケアチーム

- 褥瘡（床ずれ）
- 認知症
- NST（栄養サポート）
- 排尿ケア
- 心臓リハビリ、回復リハビリ
- 感染対策
- 摂食嚥下
- 術後疼痛管理 など

- 健康管理や服薬指導で、退院に向けて体調面をサポート
- 訪問看護や施設利用など必要な福祉サービスの検討・調整
- 退院後に必要な支援などを多職種で考えるカンファレンスへの参加 など

地域との「つながり」も大切。健康増進へ繋げる

受診や入院以外にも、院内外を問わず地域の皆さまとふれあいながら健康相談や出前授業など、健康の維持、疾病予防に繋がっていくような活動も取り組んでいます。

(院内) ● 看護週間イベント ● ふれあい看護体験 ● オープンホスピタル

(院外) ● 高校での指導（BLS など） ● 地域イベントでの健康相談 ● 子ども園での健康相談など
● 学校・市イベントの救護 ● 認知症カフェへの参加



健康相談に伺いました！
(宿南地区文化祭)

※次号（2024年1月号）の看護部スペシャル②で看護師の仕事について詳しくお知らせします！



公立村岡病院は、「地域包括ケア病床」を中心に入院医療を提供しています

地域包括ケア病床は、急性期の治療を経過し病状が安定した患者さんの中で、すぐに自宅へ帰るには不安のある方、準備期間が必要な方が退院に向けて準備をおこなうための病棟です。退院後の復帰に向けたリハビリテーションやさまざまな支援をおこない、安心して自宅や介護施設で生活していただけるよう、さまざまな職種スタッフがサポートします。また、自宅や介護施設などで、発熱・脱水・負傷など重篤ではないが入院治療が望ましい場合には治療をおこなうことも目的としています。



これからリハビリに向かう患者さんと理学療法士スタッフ。この後リハビリが終わるまで、終始笑顔で楽しみながらリハビリに取り組んでおられました。

◎こんなときに入院します

- 肺炎や骨折、手術をともなう病気で入院し状態は安定したが、治療や経過観察などが必要なとき
- 退院後の生活に向けたリハビリが必要なとき
- 自宅療養での準備が必要なとき
- 自宅や介護施設などで療養生活中、状態が急に悪くなったとき
- 自宅療養中に介護をおこなっている方が休養をとるために患者さんが一時入院をするとき

急性期病院



病状安定

入院

自宅・施設



緊急時

入院

公立村岡病院

地域包括ケア病床

入院期間：最長 60 日間



経過観察

リハビリ

在宅復帰支援

退院

自宅・施設など



安心な療養生活が続けられる

経過観察、日常生活のサポート



患者さんの状態を確認し、医師・看護師・専門スタッフが常に情報交換をおこないます。食事・トイレ・お風呂などの日常生活援助もおこないます。



薬剤師と看護師で入院患者さんのお薬をダブルチェックしています。

復帰に向けたリハビリテーション



立つ・歩くなど日常生活で基本となる動作のリハビリテーションを重点的に、患者さんの生活やその日の状態に合わせてリハビリメニューを作成し実施します。



この日は秋晴れ。外で歩行のリハビリも気持ちがいいです。



階段の必要な生活を想定した階段昇降のリハビリ。



退院後の生活に必要なサービスなどの相談

地域医療連携室専属の看護師が困りごとに対して介護サービスなど適切な社会資源の提案等をおこないます。

現場の Expert エキスパート

File.23

超音波 検査士



検査科
林 靖子

検査科
田村 美歩

超音波検査士とは?

日本超音波医学会の認定資格で、領域ごとに体表臓器、循環器、消化器、泌尿器、産婦人科、健診、血管部門があります。超音波検査の優れた技能を有するコメディカルスタッフを専門の検査士として認定し、超音波医学、医療の向上を図ることを目的としています。

資格を取得したきっかけ

診断・治療は検査から始まります。超音波検査に携わる上、専門性の高い知識と技術を身につけ診療に貢献したいと思いました。

日々取り組んでいること

超音波検査は、痛みや被ばくの心配がなく、病院や検診、人間ドックなど様々な分野でおこなわれています。検査する部分にゼリーを塗り、私たち(検査者)がプローブを体にあてて走査(※)し、臓器や血管の画像を写し出します。超音波検査機器も高度化して画質や機能が向上していますが、写真を1枚撮ればそこに臓器や病変がすべて写るということではありません。私たちが病変を探し出さなければなりません。小さな病変を見逃さないように、集中力は特に大事です。

また、きれいに画像を写し小さな病変を確実に写し出すために、患者さんには体勢を変えてもらったり、息止めしてもらったり、協力を得ながら検査をします。検査部位によっては、検査時間が長くなる場合もあります。出来るだけスムーズに検査が終えられるように、また安心して検査を受けてもらえるように患者さんとのコミュニケーションを図り、検査に対する不安を取り除くことも私たちの仕事の1つだと考えています。

(※) 動かす、撮ること

今後の目標、大切にしたいことは?

超音波検査は、その結果が診断や治療に直結することもある重要な検査です。責任ある検査を任せられていることを心に留めて、毎時検査に挑むとともに、不安を感じる患者さんには、気持ちに寄り添った検査を心がけたいです。また超音波検査士として日々スキルアップに努め、検査技術の高度化、多様化に対応できるように常に知識や技術の向上に励みたいと思います。

臨床指導者として感じたこと

7病棟 看護師 田中千愛



担当する患者さんについて
アドバイスする田中看護師(右)

かんごぶ 看護部だより

今年度より看護学生の臨床指導を担当しています。看護学生は学校内で学んだ知識や技術を基礎として、現場で指導者の指導を受けながら実際の患者さんに関わり、個々に合った看護を考え実践します。患者さんの安全を第一に考え、負担をかけないように関わらせていただいています。時には時間を要することもあります。ご協力いただいている皆さまには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私が学生の時、病院実習は慣れない環境や人に囲まれ不安や緊張でいっぱいでした。当時に思い出し、学生がイキイキと積極的に充実した実習ができるよう、指導者として関わり方に気を付けています。また私も看護学生から刺激を受けており、患者さんに関わる姿や、一生懸命にその人のための支援を考える姿を見て、より良い看護を考えるきっかけをもらっています。将来、同じ職種で働く者として「一緒に働きたい!」と思われるような指導者を目指し、自己研鑽に努めたいと思います。

医療のスペシャリストが
伝授する

教えて！
健康
コラム

膝の痛み ～最新のアプローチ～

整形外科 井上 紳司



「朝起きたら膝がこわばる、痛みを感じる」
「正座ができない」
「膝に水が溜まっている」

年のせいと思って、諦める方が多い膝の悩みですが、皆さんいかがでしょうか。最近ではテレビのCMでも、膝を切らない治療などさまざまな治療方法が紹介されています。

膝の軟骨がすり減る病気である**変形性膝関節症**に対して、末期になれば今のところ最も治療効果の高い治療として「人工膝関節置換術」があります。1960年代から開発が進み、長期耐久性という難題はクリアしたといってもいいでしょう。

近年の試みは、ロボットやAIを駆使して、健常な頃の膝形態を再現し、最終目標でもある自分の膝のように使える手術方法を試行錯誤しています。しかし、依然として人工膝関節置換術をされた患者さんでの約20%は満足されず、この数字が「やはり手術しないで治したい」と思う人が多いことにつながっているのではないのでしょうか。

最新の治療

内服と同じような除痛効果のあるテープ製剤がでてきており、多くの内服薬を服用している患者さんでも使用しやすい鎮痛薬が出てきました。



また、当院ではまだ導入しておりませんが、膝神経をターゲットにした「末梢神経ラジオ波焼灼療法」が、2023年6月から保険でおこなえる医療として認められました。1時間ほどの日帰りで、膝の感覚をつかさどる神経に対して熱焼灼する治療法です。痛みが半分以下になる方もいるようで、約1〜2年の除痛効果をもたらすと言われています。

「」相談ください

当院では、適切な診断、それぞれの患者さんの生活環境、日常生活動作に応じた治療法を提案させていただいております。先程紹介したような最新の治療を希望される場合にも、一度は当院を受診いただきご相談いただければ、後悔のない治療の手助けができるかと思えます。

産後ケアのケア内容

- ▶産後の体のケア
心身の休養、メンタルヘルスケア、産後に適した食事の提供など
- ▶赤ちゃんのケア
スキンケア、沐浴、子育ての指導
- ▶おっぱいのケア
乳房マッサージ、トラブルのケア、授乳指導など
- ▶小児科医による健診・発育チェック
- ▶育児相談



当院ホームページ「産後ケアのごあんない」でご紹介しています。ご覧ください。

みんなに「伝えたい、おはなし」

助産師
room

vol.2

育児の不安や悩みを軽減！
産後ケアでできること

当院で産後ケアを開始してから、約190人のお母さんが利用されています。産後ケアでは、お母さんの悩みや希望を聞きながら、ケアの内容や過ごし方を一緒に考えています。例えば…

赤ちゃんの体重の増え方が気になる

赤ちゃんがどれだけ飲んでいるか確認して、授乳方法やおっぱいケアのアドバイスをします。

赤ちゃんの湿疹が気になる

スキンケアの方法をお伝えします。小児科医師の診察もあり、心配事なども相談できますよ。

疲れが溜まって、イライラ…

家でゆっくり休めないお母さんのために赤ちゃんをお預かりし、個室で休んだり、ゆっくり食事をとったりしていただけます。

11/11

第 10 回やぶ医者大賞表彰式・ 記念フォーラムが開催されました

11月11日土曜日、養父市立ビバホールにて、「第10回やぶ医者大賞表彰式・記念フォーラム」が開催され、佐賀県の阿部智介医師と福井県の井階友貴医師へ「第10回やぶ医者大賞」の表彰伝達がおこなわれました。

この賞は、「へき地医療」に取り組む若手医師をたたえようと2014年に創設されたもので、当院も後援し今回で10周年記念フォーラムとして、これまでの受賞者12人がオンラインで参加し、それぞれの取り組みや、今後の展望などについて会場の地元医師らと情報交換がおこなわれました。

フォーラムでは、やぶ医者同士の交流などのための「やぶ医者ネットワーク」設立が宣言され、今後、地域医療の振興とやぶ医者の知名度向上が図られます。



表彰式の様子。受賞された阿部智介医師（写真右）と井階友貴医師（写真左）。



10周年記念フォーラムの様子。西村正樹院長も登壇者の一人としてお話をいただきました。

10/27

質の高い胸骨圧迫を目指して 新人看護師 BLS 研修を実施しました



10月27日金曜日、入職1年目の看護師を対象としたBLS（心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置）研修を実施しました。

講師は、ICLSインストラクターの資格を持つ救急救命のエキスパートである当院の看護師です。医療者のBLSとして、より質が高い胸骨圧迫をおこない、評価をしながら絶え間なく続けることを目標に取り組みました。

10/30

看護実践発表会を実施しました



10月30日月曜日、看護実践発表会を開催しました。この発表会は日々の看護実践の振り返りをおこない、新たな知見を得たり看護の質向上を図ることなどを目的に、毎年看護部が開催。発表では、演題に対し、興味をもって参加した人が多く、それぞれメモをとったりうなづいたり熱心に聴講する姿が印象的でした。1年間かけてのまとめでもあり、発表者も堂々と丁寧に発表することができました。

院内の様子（11月）

先日までの暖かい気候も束の間、急に寒くなり敷地内の木々も紅葉の見頃を迎えました。各階の個性あふれる壁飾りも、秋らしさ満開です。



検査科▶心室遅延電位の検査が可能になりました



検査方法は、通常の心電図と同じように体に電極を装着し、ベッドに横になっていただきます。検査は、20～30分程度で終わります。

致死性不整脈による心臓突然死のリスクを評価します

心筋梗塞などで心筋に傷がついたり炎症や変性が起こると、心室内に「心室遅延電位」という非常に微小な電位が発生する場合があります。この電位は致死性の心室性不整脈を起こす可能性があると言われていています。

この検査は、心電図を加算平均することで通常の心電図では記録できない微小な心電図(遅延電位)を記録することができます。

どんな人が検査の対象になるの？

心筋梗塞、心筋症、ブルガダ症候群などにより、致死性の心室性不整脈が誘発される可能性がある患者さんです。

主に内科(循環器)外来で医師に必要と判断された方を対象に検査をおこないます。

令和6年度 公立八鹿病院組合 職員募集

詳しくは、当院のホームページをご確認ください！
病院見学も受付中！

職種・募集人数	勤務地	受験資格	受付期間・試験日
看護師 正規職員 40名	公立八鹿病院	昭和53年4月2日以降に生まれた方で資格免許取得者または取得見込みの方	[受付期間] 各試験日の前週木曜日まで必着 [試験日] 次のいずれかに申込み 令和6年 1/20(土)・2/24(土)・3/16(土)
薬剤師 パートタイム会計年度任用職員 1名	公立八鹿病院	薬剤師免許を取得済みの方 ※年齢不問	随時募集(募集枠に達し次第終了)
介護職員 フルタイム会計年度任用職員 5名程度	老人保健施設	※年齢・資格不問	
介護職員 パートタイム会計年度任用職員 5名程度	公立八鹿病院 老人保健施設 公立村岡病院	※介護福祉士の資格取得支援あり	
医師事務作業補助者 パートタイム会計年度任用職員 2名	公立八鹿病院	※年齢・資格不問 ※医師事務作業補助経験者歓迎	

【採用期日】令和6年4月1日採用予定 ※資格免許取得(卒業)見込みの方は、免許取得(卒業)が採用の条件です。

看護師(フルタイム・パートタイム会計年度任用職員)も募集中!

フルタイム ●週5日 8:30～17:00

パートタイム ●週3～5日 8:30～16:30
●夜勤専従 など

勤務の日数や時間はご相談可能。ライフスタイルに合わせて働き方を選ぶことができます!



check!

看護師・介護職員
紹介ムービー公開中!

当院看護部ホームページでは、現場で働く看護師や介護職員の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



【お問い合わせ・お申し込み】 公立八鹿病院 人事会計課

電話: 079-662-5555 (代)
Mail: jinji@hosp.yoka.hyogo.jp